

人のチカラと企業のチカラで未来へつなげる。
佐伯市発の働く人々をご紹介

Vol.
31

未来をつなぐ、人と企業



有限会社 広浜環境

佐伯市西浜8-12 ☎24-2758 FAX:22-5777

創業年月:昭和34年4月 資本金:400万円

売上高:1億3,000万円 従業員数:21人

<https://hirohama-kankyo.com/>

メール:info@hirohama-kankyo.com



動画は[こちら](#)

地域の環境と快適な暮らしを守る縁の下の力持ち

佐伯に根ざして66年。広浜環境は、一般廃棄物(事業系※1・家庭ごみ※2)の収集運搬をメインに、産業廃棄物の収集運搬・処分、古紙・金属・廃プラスチック類のリサイクル、家庭多量ごみの個別回収※3など、ごみに関わる幅広い業務を行っています。

「私たちの使命は地域環境を守ること。処理費は抑えつつ、清潔で暮らしやすいまちづくりに貢献できればと思っています」そう語るのは、3代目の広浜哲哉さん。県外でWebデザイナーとして働いた後、佐伯に戻って10年以上。「ご飯がおいしいし、自然も豊か。同級生や知り合いも多く、あたたかい。帰ってきて良かったなと感じます」今は、地域の環境を守る仕事を通じて、地元への思いを形にしています。さらに事務作業のデジタル化やAIを活用した業務の効率化にも取組中。より持続可能で働きやすい環境づくりを進めています。

従業員が主役の職場づくり

働くのは50~60代が中心。勤続年数の長い社員が多いのも特徴です。「単に数字を追うのではなく、今ある仕事を丁寧に続けることが成長につながると考えています。そのためにも、従業員が心地良く働ける環境づくりを大切にしています」。有給休暇の取得推奨や給与・退職金制度の整備など、福利厚生の充実を進めるほか、社員の意見を取り入れた働きやすい職場づくりを柔軟に進めています。

「廃棄物のルールは難しいですか。弊社が直接お手伝いできない場合でも、まずは気軽にご相談いただけるうれしいです」とのこと。これからも、様々な角度から地域を支え続けてくれることでしょう。

会社のここが好き

市内の廃棄物回収のほか、現場の調整やスタッフへの指示も担当しています。回収の際は基本的に1人で動くので自分のペースで取り組めるのが魅力。戻れば和気あいあいとした雰囲気が心地良く、バランスの取れた職場です。1番うれしいのは「ありがとう」「助かるよ」などお礼の言葉をいただいたとき。「きれいなまちづくりのためにがんばろう」と力がわいてきます。

部長
かみかわ ゆういち
神河 裕一さん



※1 会社や店舗などの事業活動から生じるごみ。
※2 市から委託を受け、地域のごみを回収。
※3 引越しなどで出る多量ごみ。まずはご相談を。